

施策番号	1235		
施策名	生活衛生の推進		
概要	食品衛生，居住衛生，動物愛護等市民に身近な生活衛生対策を推進する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	123 心身ともに健やかにくらす		

施策の評価

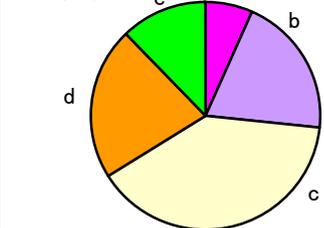
1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 市内の食中毒発生件数（件）	e	b	19	13	16	118.8%	a
2 水道法第34条の2で定められた簡易専用水道の管理の検査の受検率（%）	-	b	92.7	95.5	95.0	100.5%	a
3 犬及び猫の引取数（頭）	-	c	2,629	2,469	1,840	65.8%	c
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	e	b	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	保健所などによる業者への監視や指導があるので，食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	26	4.6%	28	5.4%	32	6.7%
b: どちらかというと思う	145	25.6%	137	26.3%	96	20.1%
c: どちらとも言えない	209	36.9%	203	39.0%	187	39.2%
d: どちらかというと思わない	115	20.3%	108	20.8%	104	21.8%
e: そう思わない	71	12.5%	44	8.5%	58	12.2%
有効回答数	566		520		477	
市民生活実感評価	C		C		C	

19回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

* この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	e	b	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	B	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	この施策の直接的な対象は、事業者等であり、実績が市民の生活実感に反映されにくいことを勘案し、客観指標総合評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続き、B評価となった。客観指標総合評価が昨年度のb評価からa評価へと上がっており、保健所を中心とした市民に身近な衛生対策が成果につながったといえる。それに対して、市民生活実感評価がc評価と低く、これが総合評価の向上につながらなかった原因である。今後は市民生活実感評価の向上が求められるが、発生数・患者数とも減少するよう、食中毒を予防するための必要な情報提供などに引き続き取り組む。また、動物愛護や動物による市民への被害防止に向けた取組を引き続き推進する。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	営業関係（環境）	187,990	187,990	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
2	相談業務委託	500	500	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
3	建築物衛生（ビル衛生管理）	186,076	186,076	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
4	そ族昆虫駆除対策	211,766	211,976	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
5	家庭用品衛生対策	8,086	8,079	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
6	飲料水衛生管理指導	190,424	190,424	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
7	環境衛生対策補助金	15,000	15,000	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
8	各種事業助成（京都府生活衛生営業指導センター研修活動事業補助金）	1,500	1,500	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
9	食品営業許可・監視指導	472,705	466,514	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
10	食鳥検査	29,164	29,164	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
11	狂犬病予防	145,370	145,640	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
12	犬・猫の不妊手術	1,500	2,500	充実	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課

13	牛海綿状脳症対策	24,409	24,409	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
14	食の安全・安心	1,000	1,000	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
15	京都市中央斎場	360,177	361,999	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
16	京都市深草墓園	24,620	24,621	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
17	京都市共葬墓地	54,460	54,389	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
18	京都市中央斎場整備（火葬炉の改修）	278,000	0	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
19	京・食の安全衛生管理認証制度	5,000	3,000	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室生活衛生課
合計		2,197,746	1,914,780		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		2,197,746 (0)	1,914,780 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1235	生活衛生の推進					
指標名	市内の食中毒発生件数（件）						
担当課	生活衛生課		連絡先	2 2 2 - 3 4 3 3			
1 指標の説明							
京都市内で発生した食中毒事件数（飲食店、家庭内等）							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
食品関係事業者、市民の食品衛生知識の普及・啓発の効果の度合いを示す指標			年毎の京都市内食中毒事件発生件数 出典：事業担当課調査				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	19	13	6件(31.6%)減	16	前年度実績×18%減	118.8%	
	全国順位	中長期目標			備考	-	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	-	-	-	-	-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
前年数値と比較して、 a：18%以上の減少 b：8%以上18%未満の減少 c：2%以下の増加または8%未満の減少 d：2%を超え12%以下の増加 e：12%を超える増加			全国で発生する食中毒の減少率3%を中心値として10%毎の基準を設けた （平成17年：1,545件、平成18年：1,491件）		17	18	19
					e	b	a

指標名	水道法第34条の2で定められた簡易専用水道の管理の検査の受検率（%）						
担当課	生活衛生課		連絡先	2 2 2 - 3 4 3 3			
1 指標の説明							
京都市内の簡易専用水道の管理の検査の受検率							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
簡易専用水道設置者の法律遵守の指導、飲用水に対する衛生知識の普及			検査対象箇所数に対する検査実施箇所数の割合 出典：厚生労働省調査結果				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	92.7	95.5	2.8ポイント増	95.0	受検率95%を目標値として設定	100.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	-	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	17年度 全国平均 受検率 81.8%	-	-	-	-	-	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
a：95%以上 b：85%以上～95%未満 c：75%以上～85%未満 d：65%以上～75%未満 e：65%未満			全国の受検水準（81.8%）を中心評価基準とした。		17	18	19
					-	b	a

施策名	1235	生活衛生の推進
-----	------	---------

指標名	犬及び猫の引取数（頭）
-----	-------------

担当課	生活衛生課	連絡先	2 2 2 - 3 4 3 3
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

飼養犬・猫の引取数を前年度と比較することにより、減少率又は増加率を算出する。

2 指標の意味

動物の終生飼養及び避妊去勢手術の普及啓発効果

3 算出方法・出典等

当該年度の犬・猫の引取数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	2,629	2,469	160頭(6.1%)減	1,840	前年度実績×70%未満を目標値として設定	65.8%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

前年度比が
a: 70%未満
b: 70%以上～ 90%未満
c: 90%以上～110%未満
d: 110%以上～130%未満
e: 130%以上

6 基準説明

前年度の引取数と変動がない状態を中心値(100%)として5段階評価する。

7 評価結果

17	18	19
-	C	C